

松尾の川の水中生物を捕まえよう!

6月27日(日)に行いました。今年には新型コロナウイルスの影響もあり、事前に申し込みをいただいた33人にご参加いただきました。雨が心配されましたが、当日は晴天に恵まれて、かわらんの久保田先生に教わりながら、中溝川の生物をつかまえて観察したり、水質検査を行ったりしました。

中溝川の水質改善が進行中

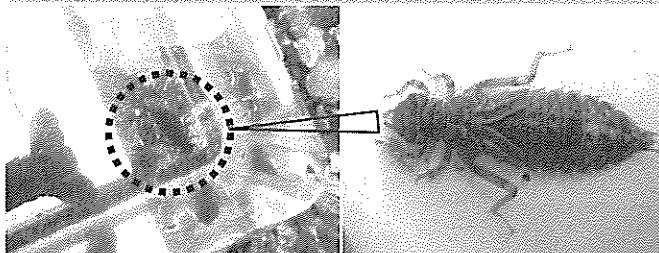
天龍川総合学習館から

久保田 憲昭



一昨年前の本誌41号で中溝川の水質改善について、住民親子による観察会での水質測定と水生生物の生息の様子から紹介しました。そこでは水質自体は良好になったものの川底環境に課題があることを指摘しましたが、驚くことに今年の観察会では川底にも改善の兆候が見えてきました。その一つが、今年初

中溝川で初めて見つかった絶滅危惧種のアオサナエ



参加者が採集した個体 アオサナエのヤゴの姿

虫のヘビトンボが複数見つかったとです。この種類は「きれいな水」を示す水質指標生物でもあります。どちらも天竜川や周辺河川の流れの速い場所の石礫底にすみ、小さな川虫をエサにして成長します。これらの川虫が生息することは、川底に石や砂利の場所が広がって、その場所が川虫たちの生息環境として機能し始めたことを示しています。以前のような泥と植物片で臭気を感じた淀んだ流れから、石礫と透明な流れの環境に変化しつつあります。

★参加した皆さんの感想★

- ・おもしろかった。おさかな、どじょうとかがとれてうれしかった。
- ・生き物がいっぱいいたし、すごく楽しかった。また来年行きたいと思いましたが、メダカがいて、びっくりした。すごく楽しかったからまたやりたい。
- ・みずのなかでせいぶつをつかまえてうれしかった。
- ・今日は、川には入らずとちゅう参加でしたが、他の人がとった生き物を見たり川の水がきれいとか楽しくじっけんをしたりできたのでよかったです。
- ・今日が初めて何をやるか分からなかったけど魚とか見れてすごく楽しかったです。来年あったら参加させてください！よろしくおねがいします。
- ・みたときはよくみえないけどよくみてみたらほんとうはいっぱいいるんだなとおもいました。またやりたいとおもいました。
- ・水調べでだんだんきれいになっていくことをしりました。外来種もいたけど、在来種もいっぱいいたのでよかったです。
- ・学べたのでよかったです。
- ・いろいろな魚がいて、おどろきました。おもしろかった。むしがいっぱいいたのしかった。
- ・自分で魚をつかまえられると思っていなかったけど、つかまえたのでうれしかったです。中みぞ川の水がとてきれいでよかったです。とても楽しかったです。
- ・いろいろな生き物をつかまえていい。
- ・たいけんができたと思いました。
- ・魚や水中の生物が、たくさんとれてよかったです。めずらしい生き物やぜつめつきぐしゅもいて、ビックリしました。最後までがんばれてよかったです。
- ・川に入った時はとてもつめたかったけど、たくさん魚がとれてよかったです。
- ・水調べをして、きれいな水だと分かった。魚やどじょう、色々な生き物が見てうれしかった。メダカを取った人がいてすごいと思った。めずらしい生き物もいたからビックリした。
- ・最後までがんばった。
- ・いろいろな川の生き物がとれてよかったし、じっけんを楽しめて本当によかったです。
- ・色々つかまえたし、ぜつめつきぐしゅもいるとは思ってなかったからびっくりした。来年もやりたい。
- ・さかなをたくさんつかまえて川がきれいということを知れてよかったです。
- ・大きな魚をつかまえることができてよかったです。
- ・とても楽しかったです！来年もやるのだったら、ぜひ参加したいです。魚や水の事が分かってよかったです！
- ・いろいろなつかまえてたのしかった。
- ・川がきれいになったことを実感できてよかったです！松尾は住宅地ですが清水も豊富で、川のきれいさを大切にうけつがなければと思いました。水がきたないのとかきれいな水の生きまものがよくわかりました。さかなとれたよ。たのしかった。

地域の底力

松尾小学校長

城田 純子



松尾小学校は、来年初立一五〇周年を迎えます。明治五年学制発布により、久井の無住持の寺誓願寺を校舎に第三十一番小学校として発足したのを初年と数えます。それ以前にも、私塾や寺子屋があり、寺子屋では実用性の高い教育が行われていたようです。新たな学校創立のためには、土地、校舎、人材、それらに係る費用と大変な苦勞があったと思われ、学校創立への意志の高さの表れから、寄付が素早く集まったと記されています。寺子屋時代から一変した教授内容により、外国に関する知識や欧米から入ってきた教材を取り入れた授業が行われ、明治三十三年には、校舎増築にあわせ校歌作成を依頼し、長野師範附属小の教諭であった浅井洌(作詞)依田弁之介(作曲)の両名による校歌が完成しています。飯田下伊那では最も早くできた校歌とされています。大正七年には、初代のオオサンショウウオを伊勢より連れ帰り、かわいがって育てました。戦時下では、食糧難となり、校庭を開墾して、いもやかぼちゃなど食べられる野菜を栽培もしたそうです。

少年少女消防クラブの活動

分団長 池田 慎太郎

令和三年度松尾分団分団長を務めております池田慎太郎と申します。日ごろより消防団活動に励み、深くご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、飯田市消防団第五分団(松尾分団)では、平成28年度より小学生による消防クラブ「松尾少年少女消防クラブ」の運営を行っております。「松尾少年少女消防クラブ」では、「幼少より防火・防災活動への理解を深めること」を目的として、学年の枠を超え、普段の生活では経験することのない防災知識について学び、意識を高めてきた地域をより身近に感じていくことを考え活動を行っているクラブです。活動には毎回、現役の消防団員と消防団OBが指導者として出席しており、地域に暮らし、地域を守ってきた大人たちを知る機会にもなっていると考えます。主な活動として、火災予防広報や消防署の見学、写生大会への参加などがあります。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止により従来の活動より縮小となってしまっていることは残念であります。小学生の皆さんには、お友達と一緒に松尾少年少女消防クラブに入って、松尾の地域防災のために活動して頂きたいと思っております。

地域を支える消防クラブ

松尾消防少年少女クラブ

田中 篤志

令和三年度松尾少年少女消防クラブ幹事を務めております前年度分団長の田中篤志と申します。消防団を退団しても、少しでも地域の為、消防の力になればという気持ちで活動しています。活動では、小学一年生から参加している子もおり、皆クラブの法被に着替えて活動しています。消防団の訓練にお邪魔し、消防団のポンプ車に乗って地区内広報に出掛けることもあります。子供たちは、憧れの消防車に乗れることを楽しみにしている子も多いようです。平成28年に結成された松尾少年少女消防クラブですが、全国的には防火防災思想の普及を図ることを目的に小学校から高校生までの少年少女で結成されており、令和二年現在クラブ数は4352クラブ、クラブ員約41万人、指導者は約1万4千人が活動しています。飯田市では、鼎・座光寺・伊賀良と松尾の4クラブが活動しています。子供たちが、防火防災の意識を身近な生活の中で見出す視点を持つことのできる、こうした活動がより活発になり意識が向上していくことを願っています。そして、いずれば地域の保安の務めを担う消防団に入団してもらえたらと思っております。

健全育成の第一歩『挨拶』

青少年健全育成会長

山崎 嘉英

本年度より、松尾地区青少年健全育成会長を拝命しました。寺所の山崎嘉英と申します。松澤秀明前会長の思いを引き継ぎ、力不足ではありますが、松尾地区の子どもの健全育成のため、精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。さて、五月に健全育成会の最初の事業として、各地区集会所と自治振興センターの玄関付近に設置されております「挨拶標語看板」の交換を行いました。この作業は、年三回行います。「挨拶は心を開く言葉」と言われ、地域の皆さんの心を結び付ける大切な言葉です。とりわけ、子どもたちにとって、挨拶は地域の皆さんに見守られているという安心感を感じさせる言葉です。そして、子どもたちの健全な育成には、地域の皆さんに見守られているという安心感が不可欠であり、挨拶はその第一歩だと思っております。是非、各地区に設置されております「挨拶標語看板」に注目していただき、大人も子どもも自然に挨拶が交わされる松尾地区を目指して、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思います。

